

# 日本宗教学会 第 82 回学術大会

2023 年 9 月 8 日(金)～10 日(日)

会場：東京外国語大学 府中キャンパス

主催：日本宗教学会第 82 回学術大会実行委員会（東京外国語大学）

# お知らせとお願い

- 1. 受付手続きの際、名札用のケースと用紙を受け取り、会場では常に名札をつけてください。**  
受付では名札用のケースとともに大会名のみが書かれた名札の用紙を配布します。氏名の記載は参加者自身で行なってください。所属先の記載は任意とします。  
名札は大会参加費納入済みであることを示すため、会場内では必ず、見える位置につけてください。
- 2. 理事会承認後の発表題目の変更、パネル発表の構成員・発表順の変更は一切認められません。**  
プログラムと同一にしてください。
3. 発表者は、発表の2番前に、発表会場の「発表者待機席」においでください。
- 4. 発表時にパソコン用プロジェクターを使用する方へ**  
4頁「パソコン用プロジェクターの使用に関するご注意」をお読みください。
5. 発表時に配布する資料は、数に余裕をもってご用意の上、会場係にお渡しください。  
会場での複写は受け付けません。
- 6. 発表時間は以下のように決められています。時間厳守をお願いします。**
  - ・個人発表 発表15分、質問5分、計20分（初鈴13分、二鈴15分、三鈴20分）
  - ・パネル発表 「発表者数×5分」をフロアからの質問時間として確保ください。  
それ以外の時間配分は、パネル運営者にお任せします。
7. 発表会場間の移動、及び、プロジェクターの準備に時間が必要なことを考慮して、個人発表終了後に5分間の休憩時間を設けています。この5分間を議論の延長などに使うことのないようお願いいたします。
8. 発表の取り消しがあった場合でも、その後の発表は時間を繰り上げることなく、プログラム記載の時間に発表して頂きます。
9. 理事会承認後の発表取り消しは原則として認められません。やむを得ぬ事情により発表を辞退せざるを得なくなった場合は、できるだけ速やかに、大会実行委員会に連絡をしてください。
- 10. 『宗教研究』別冊用要旨について**  
18頁「『宗教研究』別冊用要旨 作成と提出の注意」に従って作成し、9月15日（金）までに、編集委員会に送信してください。  
パネル発表は、代表者が全員分をとりまとめて、9月15日（金）までに、編集委員会に送信してください。
11. 会場の配置については、19頁をご覧ください。

---

大会受付	(金) アゴラ・グローバル1階 (土・日) 研究講義棟1階 102教室
大会実行委員会本部	(全日) 研究講義棟4階 422 (総合文化研究所)
クローク	(金) アゴラ・グローバル1階 (土・日) 研究講義棟1階 102教室
会員休憩室	(土・日) 研究講義棟1階 114教室、108教室

---

# 大会日程

## 9月8日（金）

評議員会	アゴラ・グローバル (プロメテウス・ホール)	13:00-13:50
開会式	アゴラ・グローバル (プロメテウス・ホール)	14:20-14:30
公開シンポジウム	アゴラ・グローバル (プロメテウス・ホール)	14:30-17:00

## 9月9日（土）

研究発表（個人）	研究講義棟 各会場	9:00-12:40
研究発表（パネル）	研究講義棟 各会場	13:30-15:30
会員総会	研究講義棟 101 教室	15:50-17:10

## 9月10日（日）

研究発表（個人）	研究講義棟 各会場	9:00-12:40
* 男女共同参画・若手研究者支援 ワーキンググループ 情報交換会	研究講義棟 221 教室	12:45-13:25
研究発表（パネル）	研究講義棟 各会場	13:30-15:30

---

### \* 男女共同参画・若手研究者支援ワーキンググループ 情報交換会

日時 2023年9月10日（日）12:45-13:25

場所 研究講義棟 221 教室

開催形式 対面開催

対象 本学会の会員

参加人数 最大30名程度

事前登録 不要

内容 男女共同参画・若手研究者支援に関する情報交換会を開催します。  
本学会の会員であれば誰でも出席できますので、奮ってご参加ください。  
本学会における活動で困っていること、改善して欲しいこと、本学会における男女共同参画・若手支援に関して期待すること、についてグループに分かれて情報交換したうえ、全体共有をします。

---

## 大会実行委員会からのお知らせ

ご参加いただくにあたり、事前に下記についてご確認いただけますよう、お願い申し上げます。

- (1) キャンパスマップ、会場へのアクセスマップは 20 頁、21 頁をご覧ください。
- (2) 会場には大会参加者用の駐車場はありません。自家用車での来場はご遠慮願います。  
やむを得ない事情により自家用車で来場される場合は、近隣の有料駐車場を利用してください。
- (3) 発表会場は研究講義棟の教室を使用します。会場ごとに部屋の大小や机の配置等に大きな違いがあり、ご不便をおかけするかもしれませんが、ご理解ください。
- (4) クロークは用意いたしますが、貴重品・衣服についてはお預かりいたしません。またお預けになったものは当日の所定の時間までに、必ずお引き取りください。
- (5) 大学会館 1 階の食堂は、土日は営業しておりません。近隣の飲食店の数は限られています。  
昼食は前もってご用意ください。会員休憩室では、飲食が可能です。
- (6) 会場にはコピー機の用意がありませんので、配布資料などは部数に余裕をもって予め各自でご用意ください。
- (7) WiFi の提供はありません。必要であれば、ポケット WiFi やテザリング機器等を各自でご用意ください。
- (8) どの会場も禁煙です。ご協力をお願いします。
- (9) 台風などにより開催状況に変更が生じた場合は、大会ホームページの「大会実行委員会特設サイト」を通じてお知らせします。
- (10) **大会前日および期間中に緊急に連絡する必要がある場合、下記にメールでお知らせください。**

第 82 回学術大会実行委員会    jars82nd(at)gmail.com    (at)を@に変えて送信してください。

## パソコン用プロジェクターの使用に関するご注意

会場となる教室にはプロジェクター類が設置されています。使用する方は、以下の注意を熟読してください。

発表会場に常設のパソコンはありません。プロジェクター類を使用する場合は、必ず、各自でパソコン等を持参してください。持参されない場合、プロジェクター類の使用はできませんので、ご注意ください。

発表会場で使用するプロジェクター類は、HDMI のみに対応しています（プロジェクター類からは下図のようなケーブルが出ていますので、持参したパソコン等に差し込んで使用してください）。

これ以外の接続方式や端子（VGA、DVI、USB、Lightning など）には対応していません。

また、会場には HDMI への変換アダプター等の用意もありません。変換アダプター等は必要に応じて各自ご持参ください。



なお、会場スタッフは接続等に関してサポートすることができません。あらかじめご了承ください。

第 82 回学術大会実行委員会

# 公開シンポジウム

## 教育とイスラーム

### —公教育から見た宗教文化の多様性—

#### 趣旨

先般、改定された学習指導要領（2020年度に小学校、2021年度に中学校で完全実施）では、道徳の時間に代えて道徳を教科とし、特に宗教文化に関わる内容として、「人間の力を超えたものに対する畏敬の念」をあげています。しかし、「多様な価値観」に触れて対話的な学びを目指す道徳が、実際には「宗教」の多様な在り方については触れていない点については、様々な課題も指摘されています（日本学術会議・哲学委員会『道徳科において「考え、議論する」教育を推進するために』2020年）。

ひるがえって見ると、世界の公教育における宗教の在り方は多様です。たとえば、国教制をとるイギリスでは義務教育に宗教科も含まれますが、時代や社会の要請に応じた様々な変遷が見られ、ライシテの原則から宗教教育が禁止されるフランスでは、スカーフ問題のように、宗教への帰属と教育の権利の関係が問われてきました。ムスリムが多数を占める地域でも、たとえば、バングラデシュの公教育では、キリスト教や仏教などの4つの宗教科目の選択が可能です。世俗主義を掲げ、女子学生のスカーフの着用を制限したトルコでは、女性の教育機会を妨げるものとして争点となり、現在では容認されています。

本シンポジウムでは、このような公教育から見た宗教文化の多様性とその社会的な位置づけを、様々なフィールドで研究を続ける3名の研究者の報告と、2名のディスカッサントの議論から展望します。

**日時** 2023年9月8日（金）14:30-17:00

**会場** 東京外国語大学 アゴラ・グローバル（プロメテウス・ホール）

<b>次第</b>	趣旨説明	八木久美子（東京外国語大学教授）	
	第1報告	桜井 啓子（早稲田大学教授）	イランの公教育とイスラーム
	第2報告	布川あゆみ（東京外国語大学准教授）	ドイツにおける宗教科とイスラーム
	第3報告	松山 洋平（東京大学准教授）	日本の公教育はイスラームをどう語るか
	ディスカッサント1	久志本裕子（上智大学准教授）	
	ディスカッサント2	小林 春夫（東京学芸大学教授）	
	司会	外川 昌彦（東京外国語大学教授）	

#### 後援

東京外国語大学総合文化研究所

「現代南アジアにおけるムスリム社会の多極化の傾向」（基盤研究(A)、19H00554、研究代表者・外川昌彦）

## 登壇者紹介

桜井 啓子／さくらい けいこ（早稲田大学教授）

1959 年生まれ。上智大学大学院博士課程修了。博士（国際関係論）。『革命イランの教科書メディア』（岩波書店、1999 年）、『現代イラン—神の国の変貌』（岩波書店、2001 年）、『シーア派—台頭するイスラーム少数派』（中央公論新社、2006 年）、『イランの宗教教育戦略』（山川出版、2014 年）など。

布川 あゆみ／ふかわ あゆみ（東京外国語大学准教授）

1983 年生まれ。一橋大学大学院社会学研究科博士後期課程修了。博士（社会学）。『移民の子どもと学校』（共監訳、明石書店、2017 年）、『現代ドイツにおける学校制度改革と学力問題』（晃洋書房、2018 年）、「ドイツ社会における「主体」としての移民—ベトナム系移民と中国系移民の学校適応と主体性に着目して」（『白山人類学』第 25 号、2022 年、67-86 頁）など。

松山 洋平／まつやま ようへい（東京大学准教授）

1984 年生まれ。東京外国語大学大学院総合国際学研究科博士後期課程修了。博士（学術）。『イスラーム神学』（作品社、2016 年）、『イスラーム思想を読みとく』（筑摩書房、2017 年）、『イスラーム神学古典選集』（編訳、作品社、2019 年）、「アッラーのほか、仏なし」（『ゲンロンβ63』ゲンロン、2021 年）、「ニッポンのムスリムが自爆するとき」（『ゲンロンβ76+77』ゲンロン、2022 年）など。

久志本 裕子／くしもと ひろこ（上智大学准教授）

1979 年生まれ。東京外国語大学大学院地域文化研究科博士後期課程修了。『東南アジアのイスラームを知るための 64 章』（明石書店、2023 年、共編著）、『変容するイスラームの学びの文化—マレーシア・ムスリム社会と近代学校教育』（ナカニシヤ出版、2014 年、単著）、「マレー・ムスリムの女子教育はなぜ必要とされたのか」（『教育とエンパワーメント』明石書店、2020 年）など。

小林 春夫／こばやし はるお（東京学芸大学教授）

1959 年生まれ。東京大学大学院人文科学研究科博士課程満期退学（宗教学宗教史学）。『イスラーム／ムスリムをどう教えるか—ステレオタイプからの脱却を目指す異文化理解』（明石書店、2020 年、共編著）、『『イスラーム的知』の形成—後期イスラーム思想史におけるファルサファとカラーム』（『イスラームの内と外から—鎌田繁先生古稀記念論文集』ナカニシヤ出版、2023 年）など。

八木 久美子／やぎ くみこ（東京外国語大学教授）

1958 年生まれ。ハーヴァード大学大学院博士課程修了（Ph. D.）、『アラブ・イスラム世界における他者像の変遷』（現代図書、2007 年）、『グローバル化とイスラム』（世界思想社、2011 年）、『慈悲深き神の食卓』（東京外国語大学出版会、2015 年）、『神の嘉する結婚』（東京外国語大学出版会、2020 年）など。

外川 昌彦／とがわ まさひこ（東京外国語大学教授）

1964 年生まれ。慶應義塾大学大学院博士課程修了。『ヒンドゥー女神と村落社会—インド・ベンガル地方の宗教民俗誌』（風響社、2003 年）、『アジアの社会参加仏教—政教関係の視座から』（櫻井義秀・外川昌彦・矢野秀武共編著、北海道大学出版会、2015 年）、*Kinship and Family among Muslims in Bengal*（共編著、Manohar, 2021）、『岡倉天心とインド—「アジアは一つ」が生まれるまで』（慶應義塾大学出版会、2023 年）など。

# 第1部会 (1階 103 教室)

9月9日 (土)

## 【午前】

- 9:00- 9:20 (発表なし)
- 9:25- 9:45 古代地中海世界の「生きられた宗教」—身体・知覚・認知を軸に— 土居 由美 (神奈川大)
- 9:50-10:10 西洋古代の pneuma 論と日本の経営思想をめぐる試論 土井 裕人 (筑波大)
- 10:15-10:35 経営の宗教学—宗教化するビジネスと経営— 岩井 洋 (帝塚山大)
- 10:40-11:00 宗教と合法性—交錯する諸ファクター— 津城 寛文 (筑波大)
- 11:05-11:25 宗教概念批判を捉え直す 藤井 修平 (東京家政大)
- 11:30-11:50 ポストヒューマニズムのポスト世俗性 坪光 生雄 (一橋大)
- 11:55-12:15 死者 AI と死後プライバシー権—死者倫理の観点から— 佐藤 啓介 (上智大)
- 12:20-12:40 トランスヒューマンと創発主義 沖永 宜司 (帝京大)

## 【午後】 パネル

### AI 実用化後の社会における宗教の学習と教育

代表者：石田 友梨

13:30-15:30 AI 時代における宗教リテラシー

井上 順孝 (國學院大)

生成 AI 技術の仕組みと人文学への活用

大向 一輝 (東大)

ChatGPT における宗教・思想的な「対話」と「呪文」

濱田 陽 (帝京大)

イスラームにおける AI の利活用

石田 友梨 (岡山大)

比較宗教学の授業と AI 利用の問題点

木村 武史 (筑波大)

司会：石田 友梨 (岡山大)

9月10日 (日)

## 【午前】

- 9:00- 9:20 (発表なし)
- 9:25- 9:45 佐藤信淵の宇宙論と神話解釈—宇宙の始まりは如何に語られるか— 増田 友哉 (東北大)
- 9:50-10:10 キェルケゴールにおける芸術と信仰—プロティノスを顧みつつ— 木瀬 康太
- 10:15-10:35 キェルケゴールとシュタイナー—キリスト教理解について— 中里 巧 (東洋大)
- 10:40-11:00 ロマン主義文学の宗教性—コンスタン・レヴィとカトリシズム— 田口 哲郎 (東大)
- 11:05-11:25 ニーチェの『ツァラトストラ』における能意志と永遠回帰 中路 正恒 (京都芸術大)
- 11:30-11:50 レヴィナスのメシアニズムにおける情動の問題 若林 和哉 (京大)
- 11:55-12:15 エリアーデのアルカイック宗教論とインド先住民の巨石信仰 外川 昌彦 (東京外国語大)
- 12:20-12:40 苦行者の肖像—宗教者の三類型に照らして— 関 一敏

## 【午後】 パネル

### 宗教現象学と認知進化科学の対話—理解の学と説明の学の架橋—

代表者：藤原 聖子

13:30-15:30 還元主義 VS 反還元主義論争からこぼれ落ちていたもの

藤原 聖子 (東大)

ルドルフ・オットーにおける「感情」—CESR の議論と関連させて—

藁科 智恵 (日大)

ペッタツォーニの最高存在論—その意義と可能性—

江川 純一 (明治学院大)

エリアーデのシンボル論と宗教現象学をめぐる問題

奥山 史亮 (北海道科学大)

コメンテータ：石井 辰典 (日本女子大)

司会：藤原 聖子 (東大)



# 第2部会 (1階104教室)

9月9日(土)

## 【午前】

1. 9:00-9:20 (発表なし)
2. 9:25-9:45 ルネサンスのスコラ哲学—トマス派とスコトゥス派の調停の試み— 比留間亮平(東洋英和女学院大)
3. 9:50-10:10 17世紀レオネ・モデナの『獅子は吠える』における知のあり方 李 美奈(東大)
4. 10:15-10:35 啓蒙主義における魂の不死と進歩思想の関係 後藤 正英(佐賀大)
5. 10:40-11:00 カントの信仰概念—W・C・スミスによる理解との関連で— 保呂 篤彦(筑波大)
6. 11:05-11:25 ワイマール共和制期ドイツの宗教運動と宗教学の形成 宮嶋 俊一(北大)
7. 11:30-11:50 ボンヘッフアーの反ナチ抵抗運動と「非宗教的キリスト教」 逢坂 暁乃(早大)
8. 11:55-12:15 アンネリーゼ・ミッセルの悪魔祓い裁判—宗教と現代社会の相剋— 谷口 智子(愛知県立大)
9. 12:20-12:40 「宗教経験からの論証」の問題圏 深澤 英隆(一橋大)

## 【午後】パネル

### 現代世界における宗教哲学の可能性

代表者：氣多 雅子

13:30-15:30 信仰と宗教哲学—姉崎正治の場合—

古荘 匡義(龍大)

シモーヌ・ヴェイユにおける宗教哲学の可能性

脇坂 真弥(大谷大)

西谷啓治の宗教哲学がめざすもの

氣多 雅子(京大)

宗教哲学と自己変容的知の可能性

小林 敬(花園大)

コメンテータ・司会：伊原木大祐(京大)

9月10日(日)

## 【午前】

1. 9:00-9:20 ジェイムズ宗教論とウェルビーイング 林 研(京都光華女子大)
2. 9:25-9:45 エルンスト・トレルチの宗教哲学における宗教心理学の影響 野川 祈(東大)
3. 9:50-10:10 〈魂〉が異なるものの認識—トレルチの歴史哲学から宗教哲学へ— 小柳 敦史(北海学園大)
4. 10:15-10:35 「夢を見ること、空想すること、生きること」と創造性の関連 田口 博子(白百合女子大)
5. 10:40-11:00 臨死体験の参与観察—夢と幻視を介して— 河東 仁(立教大)
6. 11:05-11:25 臨床心理学と宗教をめぐる研究の動向 今野 啓介
7. 11:30-11:50 共苦する医療者と宗教者 杉岡 良彦(上野病院)
8. 11:55-12:15 宗教と認知行動的セルフモニタリング—心理支援上の宗教の役割— 山崎 洋史(仙台北百合女子大)
9. 12:20-12:40 自死に対する大学生の意識 沖永 隆子(帝京大)

## 【午後】パネル

### 宗教学における知の枠組みの再検討

代表者：澤井 義次

13:30-15:30 イルファーンとイスラームの宗教構造

鎌田 繁(東大)

西谷啓治の宗教哲学における宗教の再考

長岡 徹郎(阪大)

鈴木大拙の禅思想の展開

岩本 明美(鈴木大拙館)

シャンカラ派信仰の意味論的理解

澤井 義次(天理大)

コメンテータ：木村 敏明(東北大)

司会：澤井 義次(天理大)

# 第3部会 (1階 105教室)

9月9日(土)

【午前】

- |                |                             |                |
|----------------|-----------------------------|----------------|
| 1. 9:00-9:20   | (発表なし)                      |                |
| 2. 9:25-9:45   | 照明学派における想像的境域とその存在論化とについて   | 宮島 舜 (早大)      |
| 3. 9:50-10:10  | ナスィールッディーン・トゥーシーの倫理学とスーフィズム | 西山 尚希 (東大)     |
| 4. 10:15-10:35 | クザーヌス思想におけるイスラーム像の一断面       | 島田 勝巳 (天理大)    |
| 5. 10:40-11:00 | クザーヌスとイスラーム—セコビアのフアン宛書簡—    | 矢内 義顕 (早大)     |
| 6. 11:05-11:25 | イスラーム世界の医学書における創造主の讃美       | 矢口 直英 (東大)     |
| 7. 11:30-11:50 | 現代イスラーム思想における夢解釈            | 村山木乃実 (東大)     |
| 8. 11:55-12:15 | オマーンにおけるヒンドゥー教寺院とその社会的役割    | 岡光 信子 (中央大)    |
| 9. 12:20-12:40 | 中国におけるイスラーム研究史に関する調査研究      | 志宝ありむとふて (東北大) |

【午後】 パネル

イスラームの聖者論と権威

代表者：澤井 真

- |             |                                |                   |
|-------------|--------------------------------|-------------------|
| 13:30-15:10 | 聖者が織り成す世界—靈的権威としてのイスラーム神秘主義—   | 澤井 真 (天理大)        |
|             | メヴレヴィー教団と聖者                    | 井上 貴恵 (明大)        |
|             | 大統領は「聖者」か？—スーダンにおける宗教的権威の政治利用— | 丸山 大介 (防衛大)       |
|             |                                | コメンテータ：高橋 圭 (東洋大) |
|             |                                | 司会：澤井 真 (天理大)     |

9月10日(日)

【午前】

- |                |                               |               |
|----------------|-------------------------------|---------------|
| 1. 9:00-9:20   | 東西思想の統合—西田哲学の絶対無と靈操の不偏心の類似性—  | 高橋 勝幸         |
| 2. 9:25-9:45   | 宗教間対話についての一考察                 | 溪 英俊 (龍大)     |
| 3. 9:50-10:10  | 宗教間対話組織のジェンダー分析               | 三善 恭子 (上智大)   |
| 4. 10:15-10:35 | イスラーム多妻制度に見る一夫一妻の法的構造         | 四戸 潤弥 (同志社大)  |
| 5. 10:40-11:00 | 現代ドイツにおける改宗ムスリム表象のメディア分析      | 和田 知之 (東大)    |
| 6. 11:05-11:25 | フランスにおける性的少数者のムスリムと「包摂的なモスク」  | 佐藤香寿実 (芝浦工業大) |
| 7. 11:30-11:50 | フランスとケベックのイスラーム—いかに比較するか—     | 伊達 聖伸 (東大)    |
| 8. 11:55-12:15 | 西欧社会におけるムスリムチャプレンの位置          | 葛西 賢太 (上智大)   |
| 9. 12:20-12:40 | 現代トルコのイスラーム的政治的動向とアレヴィー諸勢力の軋轢 | 佐島 隆 (大阪国際大)  |

【午後】 発表なし

# 第4部会 (1階106教室)

9月9日(土)

【午前】

- |                |                                    |               |
|----------------|------------------------------------|---------------|
| 1. 9:00-9:20   | 中世ユダヤ商人の交易路の変遷とラシュートの関連性           | 嶋田 英晴 (同志社大)  |
| 2. 9:25-9:45   | 『ヨセフ・ハメカネの書』におけるキリスト教論駁—方法と文脈—     | 志田 雅宏 (東大)    |
| 3. 9:50-10:10  | 「リベラル」なアメリカ・ユダヤ教の形成とS・S・ワイズ        | 石黒 安里 (同志社大)  |
| 4. 10:15-10:35 | 中世エチオピア正教会の聖人伝における寡婦の問題            | 加藤 基 (東大)     |
| 5. 10:40-11:00 | 17世紀ロンドンの地震とキリスト教—Doolittleらの説教から— | 安田 典子 (関西学院大) |
| 6. 11:05-11:25 | キリスト教徒に、善人はいないのか                   | 水口 隆司         |
| 7. 11:30-11:50 | アレクサンドリアのクレメンスにおける真の夢概念            | 津田 謙治 (京大)    |
| 8. 11:55-12:15 | ボナヴェントゥラの創造論における御言                 | 平野和歌子 (龍大)    |
| 9. 12:20-12:40 | 西洋初期中世の聖餐論検討—転回する「見えないもの」—         | 柴田峻太郎 (東大)    |

【午後】 発表なし

9月10日(日)

【午前】

- |                |                                |               |
|----------------|--------------------------------|---------------|
| 1. 9:00-9:20   | 明治初中期旧潜伏キリシタン信仰組織の転換と展開に関する一考察 | 内藤 幹生         |
| 2. 9:25-9:45   | 柏木義円の人間観とチャニング                 | 杉田 俊介         |
| 3. 9:50-10:10  | 戦後初期における関根正雄の「無教会」論—その歴史的位相—   | 村松 晋 (聖学院大)   |
| 4. 10:15-10:35 | 明治期日本の公教育と宗教—アメリカ人宣教師と日本政府の交渉— | 高瀬 航平 (東大)    |
| 5. 10:40-11:00 | 初期加州基督教青年会の信仰—帝室博物館の原田治郎—      | 小前ひろみ (大正大)   |
| 6. 11:05-11:25 | 米日プロテスタントと日本の総合大学構想、1945-47年   | 吉田 亮 (同志社大)   |
| 7. 11:30-11:50 | 共和政末期～帝政初期ローマのト占における観衆の役割      | 小堀 馨子 (帝京科学大) |
| 8. 11:55-12:15 | 古代メソポタミアの儀礼と造形                 | 細田あや子 (新潟大)   |
| 9. 12:20-12:40 | ギリシア神話におけるメディアアの特異性            | 松村 一男 (和光大)   |

【午後】 発表なし

# 第5部会 (1階107教室)

9月9日(土)

## 【午前】

- |                |                                |                 |
|----------------|--------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00-9:20   | 『古事記』天石屋戸神話と『理趣経』各段末の「咲(笑)」の研究 | 長田 伊央 (皇學館大)    |
| 2. 9:25-9:45   | 神位記・宗源宣旨と神教—性格昇進文書の日越比較—       | 井上 智勝 (埼玉大)     |
| 3. 9:50-10:10  | 陰陽道における「曜宿経」—五卷本『篋篋』の形成—       | 小池 淳一 (国立歴史民俗)  |
| 4. 10:15-10:35 | 三教一致論の思想的基盤としての心学の再検討          | 森 和也 (中村元東方研究所) |
| 5. 10:40-11:00 | 吉田神道事相への批判と吉田兼原の対応             | 新田 惠三 (皇學館大)    |
| 6. 11:05-11:25 | 近世の古典知と「神道の復古」                 | 松本 久史 (國學院大)    |
| 7. 11:30-11:50 | 副島種臣と天御中主神                     | 三ツ松 誠 (佐賀大)     |
| 8. 11:55-12:15 | 1920年代の神社局長—内務官僚・松本学の神社行政より—   | 吉水 希枝 (立命館大)    |
| 9. 12:20-12:40 | 「生成と統合の神学」の一考察—山崎闇斎と西晋一郎の場合—   | 久保 隆司 (早大)      |

## 【午後】パネル

### コンスピリチュアリティ研究の課題と展望

代表者：栗田 英彦

- |             |                               |               |
|-------------|-------------------------------|---------------|
| 13:30-15:30 | コンスピリチュアリティの定義と批判、および有用性について  | 辻 隆太郎         |
|             | 太田竜のエコロジー運動にみるコンスピリチュアリティ     | 栗田 英彦 (佛教大)   |
|             | コロナ禍とコンスピリチュアリティ              | 堀江 宗正 (東大)    |
|             | 米国ウェルネス・コミュニティにおけるコンスピリチュアリティ | 伊藤 雅之 (愛知学院大) |
- コメンテータ：ヤニス・ガイタニディス (千葉大)  
司会：栗田 英彦 (佛教大)

9月10日(日)

## 【午前】

- |                |                                |                  |
|----------------|--------------------------------|------------------|
| 1. 9:00-9:20   | 生命の源、宇宙の柱としての富士山               | 内田 裕一            |
| 2. 9:25-9:45   | 富士信仰習俗の類型                      | 大谷 正幸            |
| 3. 9:50-10:10  | 実行教の社会事業                       | 今井 功一 (國學院大)     |
| 4. 10:15-10:35 | 公的統計からみる教派神道                   | 藤井 麻央 (東京工業大)    |
| 5. 10:40-11:00 | 天理外国語学校の設立と朝鮮布教                | 金 賻城 (天理大)       |
| 6. 11:05-11:25 | 天理教における教会のはじまり                 | 澤井 治郎 (天理大)      |
| 7. 11:30-11:50 | 近現代の神祇信仰と教化／布教の可能性—「稲荷講社」を中心に— | 青木 涼悟            |
| 8. 11:55-12:15 | 新宗教の生成と神社講社—稲荷講社と金明霊学会—        | 石原 和 (南山宗教文化研究所) |
| 9. 12:20-12:40 | 尾張西部の御嶽講系譜に関する一考察              | 小林奈央子 (愛知学院大)    |

## 【午後】国際委員会企画パネル

### Translation Matters: Translating Japanese Religious Concepts into Other Languages

- |  |  |
|--|--|
| 13:30-15:30  | Convener: OKUYAMA Michiaki                 |
| <i>Waka</i> in Religious Contexts: Issues in Translation                 | Molly VALLOR (Meiji Gakuin Univ.)          |
| The Philosophical Dimensions of Translating and the <i>Shugendō</i> Case | Andrea CASTIGLIONI (Nagoya City Univ.)     |
| Tourism and Translating Japanese Religions                               | Mia TILLONEN (Fuji Women's Univ.)          |
| Translating the "Kokoro" in Spiritual Care                               | Timothy O. BENEDICT (Kwansei Gakuin Univ.) |
|  | Commentator: Cynthea BOGEL                 |
|  | Chair: OKUYAMA Michiaki (Toyo Eiwa Univ.)  |

# 第6部会 (1階113教室)

9月9日(土)

## 【午前】

- 9:00-9:20 (発表なし)
- 9:25-9:45 近世の軍書・卜占書に掲載された手品に見る「啓蒙」性 伊藤 優 (東大)
- 9:50-10:10 茶道の近代とつぼみの椿 澤田 洋子 (愛知学院大)
- 10:15-10:35 幕末の志士平野国臣にみる祭祀の変容—近代の戦争から現代へ— 原 英子 (岩手県立大盛岡短大部)
- 10:40-11:00 武子ブームについての一考察—九條武子の死がもたらしたもの— 小笠原重矢里 (武蔵野大)
- 11:05-11:25 昭和恐慌期の賀川豊彦による農村社会事業への転換 井川 裕寛 (上智大)
- 11:30-11:50 明治中期の「世界の諸宗教」像—『日本之教学』から考える— 星野 靖二 (國學院大)
- 11:55-12:15 柳田國男『石神問答』は境界を鎮守する神を課題としていたのか? 由谷 裕哉 (金沢大)
- 12:20-12:40 金毘羅大権現の復興 白川 琢磨 (福岡大)

## 【午後】パネル

### 明治改暦150年に近代日本を問う

代表者：林 淳

13:30-15:30 貞享改暦と明治改暦

林 淳 (愛知学院大)

明治改暦と近代の暦の機能—神社の例祭日の暦面への掲載から—

下村 育世 (日本学術振興会)

明治改暦と近代仏教

岡田 正彦 (天理大)

新暦の“超”宗教化、七曜表の“脱”宗教化

中牧 弘允 (国立民博)

コメンテータ：遠藤 潤 (國學院大)

司会：林 淳 (愛知学院大)

9月10日(日)

## 【午前】

- 9:00-9:20 (発表なし)
- 9:25-9:45 1930年代の中央教化団体連合会と加藤咄堂—宗教を視点に— 山口 陽子 (東北大)
- 9:50-10:10 昭和神聖会と「満洲国」—アジア主義と超国家主義の交差点— 玉置 文弥 (東京工業大)
- 10:15-10:35 大田南畝の信仰 木村 中一 (身延山大)
- 10:40-11:00 高橋智遍の利益観 内村 琢也
- 11:05-11:25 オールド・リベラリストと日蓮主義 大西 克明 (創価大)
- 11:30-11:50 戦後日本の仏教福祉—鈴木宗音と昭徳会— 寺田 喜朗 (大正大)
- 11:55-12:15 近代曹洞宗におけるメディア利用の変遷 武井 謙悟 (駒大)
- 12:20-12:40 近代日本仏教の社会倫理 島菌 進 (大正大)

## 【午後】パネル

### 『創価学会—政治宗教の成長と隘路』—現代宗教研究の課題—

代表者：猪瀬 優理

13:30-15:10 創価学会研究の構想と日本における〈政治—宗教〉の関係

櫻井 義秀 (北大)

創価学会の二つの原理をめぐる問いかけ

栗津 賢太 (上智大)

創価学会の組織を成り立たせるもの

猪瀬 優理 (龍大)

コメンテータ：中野 毅 (創価大)

司会：櫻井 義秀 (北大)

# 第7部会 (1階112教室)

9月9日(土)

【午前】

- |                |                            |                |
|----------------|----------------------------|----------------|
| 1. 9:00-9:20   | (発表なし)                     |                |
| 2. 9:25-9:45   | 善友の形象に関する一考察               | 筒井 奈々 (高野山大)   |
| 3. 9:50-10:10  | 『カチエン・カクルマ』における王権と神仏習合     | 槇殿 伴子 (身延山大)   |
| 4. 10:15-10:35 | 『順正理論』における根見説・識見説論争        | 那須 円照 (龍大)     |
| 5. 10:40-11:00 | 禅定的ヨーガと低誦祈祷                | 古泉 浩平          |
| 6. 11:05-11:25 | 古代インドにおける寸法システム—宗教と科学の接点—  | 手嶋 英貴 (龍大)     |
| 7. 11:30-11:50 | 『彰所知論』のモンゴル仏教における位置        | 阿部 真也 (大正大)    |
| 8. 11:55-12:15 | 旧本『八千頌般若』復元の試み             | 庄司 史生 (立正大)    |
| 9. 12:20-12:40 | 〈無〉(abhāva)をめぐるインド哲学の議論の諸相 | 丸井 浩 (京都先端科学大) |

【午後】 発表なし

9月10日(日)

【午前】

- |                |                              |                   |
|----------------|------------------------------|-------------------|
| 1. 9:00-9:20   | (発表なし)                       |                   |
| 2. 9:25-9:45   | 浄影寺慧遠『観経疏』の受容背景について          | 山名 深 (龍大)         |
| 3. 9:50-10:10  | 大乘仏教は縁起説なのか—石津照璽の第三領域からの一考察— | 佐藤 伸郎             |
| 4. 10:15-10:35 | 道元仏性論の存在論的位置                 | 辻口雄一郎             |
| 5. 10:40-11:00 | 寛元元年の『マトリックス』—道元の宇宙論—        | 早川 敦 (東北福祉大)      |
| 6. 11:05-11:25 | 夢窓疎石の慈悲観                     | 余 新星 (花園大)        |
| 7. 11:30-11:50 | 山東京伝における一休像—近世文藝の「禅」イメージ形成—  | 飯島 孝良 (花園大)       |
| 8. 11:55-12:15 | 釈宗演における禅と修養                  | 蓮沼 直應 (筑波大)       |
| 9. 12:20-12:40 | ルース・フラー・佐々木と日米第一禅協会          | 守屋 友江 (南山宗教文化研究所) |

【午後】 パネル

日本における禅受容の再検討—中世から近世へ—

代表者：何 燕生

13:30-15:30 『弁道話』から読み取れるもの—初期道元の課題—

何 燕生 (郡山女子大)

円爾の禅密諸典籍の利用と鎌倉中期の禅の展開

和田有希子 (早大)

「密参禅」の由来と展開の再検討—下語の使用を手がかりに—

ディディエ・ダヴアン (国文学研究資料館)

看話禅の展開—大慧宗杲と白隠慧鶴を中心として—

柳 幹康 (東大)

コメンテータ：末木文美士 (国際日文研)

司会：何 燕生 (郡山女子大)

# 第8部会 (1階111教室)

9月9日(土)

## 【午前】

- |                |                            |             |
|----------------|----------------------------|-------------|
| 1. 9:00-9:20   | (発表なし)                     |             |
| 2. 9:25-9:45   | 善導の修道体系における懺悔の位置           | 眞田 慶慧 (龍大)  |
| 3. 9:50-10:10  | 親鸞の浄土観における「極楽無為涅槃界」の射程     | 松岡 淳爾 (大谷大) |
| 4. 10:15-10:35 | 妙音院了祥の『歎異抄』理解について          | 鶴留 正智 (大谷大) |
| 5. 10:40-11:00 | 親鸞思想における「真仏弟子」の主体について      | 藤井 了興 (大谷大) |
| 6. 11:05-11:25 | 珍海『決定往生集』における菩提心           | 松尾 善匠 (東大)  |
| 7. 11:30-11:50 | 『教行信証』後序における『華嚴經』引意に関する一考察 | 逸見世自在 (龍大)  |
| 8. 11:55-12:15 | 毎田周一の浄土観                   | 近藤 義行 (龍大)  |
| 9. 12:20-12:40 | 太子守宗とは何か                   | 常磐井慈裕       |

## 【午後】パネル

- 
- |                        |               |
|------------------------|---------------|
| 人口減少地域における「宗教意識」の揺らぎ   | 代表者：木越 康      |
| 13:30-15:10 宗教意識の揺らぎ   | 藤枝 真 (大谷大)    |
| 過疎地寺院に生きる人々の声          | 那須 公昭 (龍大)    |
| 仏教信仰の動揺                | 木越 康 (大谷大)    |
| “信仰の揺らぎ”の先にあるもの、基にあるもの | 平子 泰弘         |
|                        | 司会：木越 康 (大谷大) |
- 

9月10日(日)

## 【午前】

- |                |                             |                |
|----------------|-----------------------------|----------------|
| 1. 9:00-9:20   | (発表なし)                      |                |
| 2. 9:25-9:45   | 梵文法華経と他仏典のレーベンシュタイン法による比較検討 | 西 康友 (中央学術研究所) |
| 3. 9:50-10:10  | 日蓮における時の認識について              | 深谷 恵子 (立正大)    |
| 4. 10:15-10:35 | 『立正安国論』と『唱法華題目鈔』の関連をめぐって    | 矢吹 康英 (立正大)    |
| 5. 10:40-11:00 | 草山元政「七面大明神縁起」について           | 桑名 法晃 (身延山大)   |
| 6. 11:05-11:25 | 日蓮伝記と日蓮伝承—日蓮の甲斐国巡教を中心に—     | 望月 真澄 (身延山大)   |
| 7. 11:30-11:50 | 近世の成田不動と日蓮宗祖師信仰に表れた現世利益     | 小泉 壽           |
| 8. 11:55-12:15 | 近代日蓮宗と議会                    | 平澤 是芳 (立正大)    |
| 9. 12:20-12:40 | 仏教と精神分析                     | 三輪 是法 (立正大)    |

## 【午後】パネル

- 
- |  |                  |
|--|------------------|
| 「新しい「領解文」(浄土真宗のみ教え)」について考える            | 代表者：深水 顕真        |
| 13:30-15:10 『領解文』が説示する「安心」と『新しい領解文』の領解 | 稲城 蓮恵            |
| 教典翻訳の危険性—「わかりやすさ」という誘惑—                | 深水 顕真 (広島文教大)    |
| 宗教の社会的実践に関する浄土真宗の基本的立場                 | 藤丸 智雄 (武蔵野大)     |
| 新領解文の評価基準の考察—「黄金のチェーン」との比較—            | ケネス田中 (武蔵野大)     |
|  | 司会：深水 顕真 (広島文教大) |
-

# 第9部会 (1階110教室)

9月9日(土)

【午前】

- |                |                                |               |
|----------------|--------------------------------|---------------|
| 1. 9:00-9:20   | コロナ禍前後の「祈り」表現の変化—歌謡曲計量テキスト分析—  | 和田 理恵 (東大)    |
| 2. 9:25-9:45   | コロナ影響下の若者の宗教活動—新宗教公式メディアの語りから— | 坪井 俊樹 (東大)    |
| 3. 9:50-10:10  | 災害と慰霊—コロナ禍から考える—               | 野村 任 (國學院大)   |
| 4. 10:15-10:35 | コロナ禍における葬送儀礼の変化と僧侶の課題意識        | 高瀬 顕功 (大正大)   |
| 5. 10:40-11:00 | 宿坊と墓の現代的接合による「永代関係人口」の創出可能性    | 和栗 隆史         |
| 6. 11:05-11:25 | アンケート調査から見る月参りの実態と減少の要因        | 小川 有閑 (大正大)   |
| 7. 11:30-11:50 | 都市化にともなう寺院空間の変容—堀之内妙法寺を事例として—  | 小高 絢子 (東京工業大) |
| 8. 11:55-12:15 | 過疎真宗地域における巡回講の実態               | 本林 靖久 (大谷大)   |
| 9. 12:20-12:40 | 女性教師の多層性—日蓮宗全女性教師アンケート調査から—    | 丹羽 宣子 (中央学院大) |

【午後】 発表なし

9月10日(日)

【午前】

- |                |                              |                 |
|----------------|------------------------------|-----------------|
| 1. 9:00-9:20   | (発表なし)                       |                 |
| 2. 9:25-9:45   | 生長の家における流産児霊魂の供養—『霊供養入門』を例に— | 郭 立東 (東大)       |
| 3. 9:50-10:10  | 現代ニッポンの妊活と中絶—子安神社葦船社の事例から—   | 淵上 恭子           |
| 4. 10:15-10:35 | 中国江西省における殯葬改革の展開—メディア言説を中心に— | 大場 あや (日本学術振興会) |
| 5. 10:40-11:00 | 死装束からラストドレスへ—衣装にみる現代日本人の死生観— | 岸根 紗葵 (上智大)     |
| 6. 11:05-11:25 | 山田宗樹『百年法』論—高齢者問題と現代日本人の死生観—  | 横濱佑三子 (上智大)     |
| 7. 11:30-11:50 | 葬儀における法話の実態                  | 磯部 美紀 (大谷大)     |
| 8. 11:55-12:15 | 仏壇のリメイク事業にみられる仏壇の継承とその課題     | 山田 慎也 (国立歴史民博)  |
| 9. 12:20-12:40 | 特許・実用新案から考える近代日本の供養          | 土居 浩 (ものづくり大)   |

【午後】 発表なし



# 第10部会 (1階109教室)

9月9日(土)

## 【午前】

- 9:00-9:20 (発表なし)
- 9:25-9:45 新宗教教団が実施する「教祖祭」の意義と役割 道蔦 汐里 (東京工業大)
- 9:50-10:10 天理教の社会貢献活動ー地方教会に焦点をあててー 青木 繁 (東京工業大)
- 10:15-10:35 天理教の里親活動における「おつとめ」の位置づけ 深谷 耕治 (天理大)
- 10:40-11:00 「親心」とは何かー教理と信仰実践についての一考察ー 堀内みどり (天理大)
- 11:05-11:25 岩下壮一の「救癪」ー国家、癪者、皇太后ー 松岡 秀明 (東大)
- 11:30-11:50 「ラルシュ創設者によるハラスメント」調査報告書をいかに読むか 寺戸 淳子 (国際ファッション専門職大)
- 11:55-12:15 ヘンリ・ナウエンの老いに悩む者に対するキリスト教的ケア理解 武田 厚子 (立教大)
- 12:20-12:40 更生における信仰ーある自立準備ホームの事例からー 萩原 修子 (熊本学園大)

## 【午後】パネル

### 死者と暮らすー物質的宗教論からみる仏壇・家庭祭壇・手元供養ー

代表者：村上 晶

13:30-15:10 仏壇を仏壇たらしめるモノ

村上 晶 (駒大)

日本人正教徒の家庭祭壇を構成する人ーモノー住居空間

佐崎 愛 (東北大)

遺骨と暮らすことー遺骨の物質性と手元供養ー

宮澤 安紀 (國學院大)

コメンテータ：ミア・ティッロネン (藤女子大)

司会：村上 晶 (駒大)

9月10日(日)

## 【午前】

- 9:00-9:20 (発表なし)
- 9:25-9:45 (発表なし)
- 9:50-10:10 在日二世のキリスト者の信仰生活と民族教会に対する意識 荻 翔一 (日本学術振興会)
- 10:15-10:35 エホバの証人における「2世」問題の構成と終末論的な救済観 山口 瑞穂 (佛教大)
- 10:40-11:00 「宗教2世」問題の構造・論点と宗教研究の課題 塚田 穂高 (上越教育大)
- 11:05-11:25 西本願寺系僧侶と神社本庁系神職による統一協会への協力について 別府 良孝
- 11:30-11:50 統一教会 (世界平和統一家庭連合) における養子縁組 中西 尋子 (大阪公立大)
- 11:55-12:15 神道スピリチュアリズムと現代神社施設 山崎 好裕 (福岡大)
- 12:20-12:40 ロシアにおける宗教文化教育と愛国心教育 井上まどか (清泉女子大)

## 【午後】パネル

### 葬儀のバーチャル化ー課題と展望ー

代表者：瓜生 大輔

13:30-15:30 遠隔葬儀参列の現状ーコロナ禍を経た今後の展望ー

瓜生 大輔 (芝浦工業大)

葬儀参列形態からみるバーチャル化の可能性ー韓国調査報告ー

金セツピョル (総合地球環境学研究所)

わが家の葬儀の遺し方ー中国の葬儀ビデオが照り返す弔いの形ー

丹羽 朋子 (国際ファッション専門職大)

VRで再現された故人との再会ー日韓のTV番組を事例にー

高木 良子 (東京工業大)

コメンテータ：田中 大介 (自治医科大)

司会：瓜生 大輔 (芝浦工業大)

# 第11部会 (2階218教室)

9月9日(土)

【午前】

- |                |                                |                |
|----------------|--------------------------------|----------------|
| 1. 9:00-9:20   | 一宮地域における妙見信仰の考察                | 竹内麻耶華 (名大)     |
| 2. 9:25-9:45   | アイヌ熊送りと〈自然との共生〉—口承説話の分析から—     | 馬場 裕美 (東北大)    |
| 3. 9:50-10:10  | 沖縄における風水の意識の現状                 | 鈴木 一馨 (鶴見大)    |
| 4. 10:15-10:35 | 大韓民国第20代大統領選挙における巫俗言説          | 新里 喜宣 (長崎外国語大) |
| 5. 10:40-11:00 | 南洋華人の斗母・九皇爺崇拜—マレーシア・ペナンの事例を軸に— | 山下 博司 (東北大)    |
| 6. 11:05-11:25 | アメリカ合衆国におけるホームスクーリングと宗教の動向     | 佐藤 清子 (東大)     |
| 7. 11:30-11:50 | 1980年代フランスにおける「禅マクロビオティック」批判   | 輝元 泰文 (東大)     |
| 8. 11:55-12:15 | 右傾化する福音派—精神世界とのシンクロから—         | 伊藤耕一郎 (関西大)    |
| 9. 12:20-12:40 | 現代コミュニケーションの宗教性—猿原人村満月祭の事例から—  | 弓山 達也 (東京工業大)  |

【午後】 発表なし

9月10日(日)

【午前】

- |                |                          |                      |
|----------------|--------------------------|----------------------|
| 1. 9:00-9:20   | (発表なし)                   |                      |
| 2. 9:25-9:45   | 近世における山越仏の意味と伝播          | 神居 文彰 (平等院ミュージアム鳳翔館) |
| 3. 9:50-10:10  | 奪衣婆信仰における布の種類とその機能       | 坂 知尋 (国際日文研)         |
| 4. 10:15-10:35 | 九相図に関する精神的・宗教哲学的考察       | 西村 則昭 (仁愛大)          |
| 5. 10:40-11:00 | 白隠禅師による地獄とその役割について       | 竹下ルッジェリ・アンナ (京都外国語大) |
| 6. 11:05-11:25 | 現代日本における怪異文化の展開について      | 古山 美佳 (國學院大)         |
| 7. 11:30-11:50 | ヤマト2202からシン・エヴァンゲリオンへ    | 十津 守宏 (成城学園)         |
| 8. 11:55-12:15 | 物語を「読むこと」と宗教的世界観の構築      | 大澤千恵子 (東京学芸大)        |
| 9. 12:20-12:40 | 世俗と宗教のあいだ—現代日本の実話怪談と怪談師— | 近藤 光博 (日本女子大)        |

【午後】 発表なし

# 『宗教研究』別冊用要旨 作成と提出の注意

『宗教研究』別冊への掲載は、発表を行い、以下①②を満たした方に限ります。

- ① 大会HPの「別冊要旨・入力ファイル」のバーからダウンロードした『宗教研究』97巻別冊要旨・入力ファイル（Word）に入力した要旨を9月15日（金）までに、メールの添付ファイルで送信し、
- ② 提出原稿の書式が規定にそっている方。  
発表題目はプログラムと同一にしてください。理事会承認後の発表題目の変更は一切認められません。  
パネル発表は、代表者が全員分をとりまとめて送信してください。

## ① 締切日：9月15日（金）（受付開始：8月20日）

送信先：『宗教研究』編集委員会 ja-religion(at)mub.biglobe.ne.jp (at)を@に変えて送信してください。

メールの件名と添付ファイルの名前：別冊要旨 発表者名 例：別冊要旨 鈴木花子

メールを受信した時は、必ず返信を出します。

（受信した順に、添付ファイルを開き、作業を行うため、返信が翌日以降になることがあります）

## ② 提出原稿の書式 規定にそっていない場合は掲載できません

### ・日本語の要旨

縦書き 40字×40行以内（文字数ではありません）

文字サイズ：10.5 日本語のフォント：MS明朝（ゴシック・太字の使用は不可）

縦書きのため、邦文は原則、漢数字を用いる。常用漢字、現代仮名づかいを用いる。

### ・英語の要旨

横書き 650 words 以内。文字サイズ：10.5 フォント：Century（太字の使用は不可）

### ・日本語の要旨、英語の要旨共通

注記、参考文献一覧、付記は認めない（要旨中に丸括弧で挿入する）。図表等の掲載は不可。

「入力ファイル」のページ設定の変更は不可。

母語でない要旨を提出する方は、個人発表は本人の責任で、パネル発表は代表者の責任で、必ず、ネイティブチェックを受けてください。編集委員会は、提出された要旨をそのまま掲載します。

### ・パネル発表

「パネルの主旨とまとめ」「パネルの欧文タイトル」（代表者が執筆）、「発表要旨」（発表者）、「コメント」（コメントータ）を提出することを原則とする。いずれも40字×40行以内。

外国語による発表者を含まないパネルは、日本語で統一すること。

### ・欧文タイトル

英語、独語の場合は、邦文題目に照らしてネイティブスピーカーが手を加えることがあります。

**9月15日（金）までに送信されなかった場合は、掲載不可となります。**

いかなる事由であっても（自然災害を含む）、発表を行わなかった人の要旨は掲載できません。

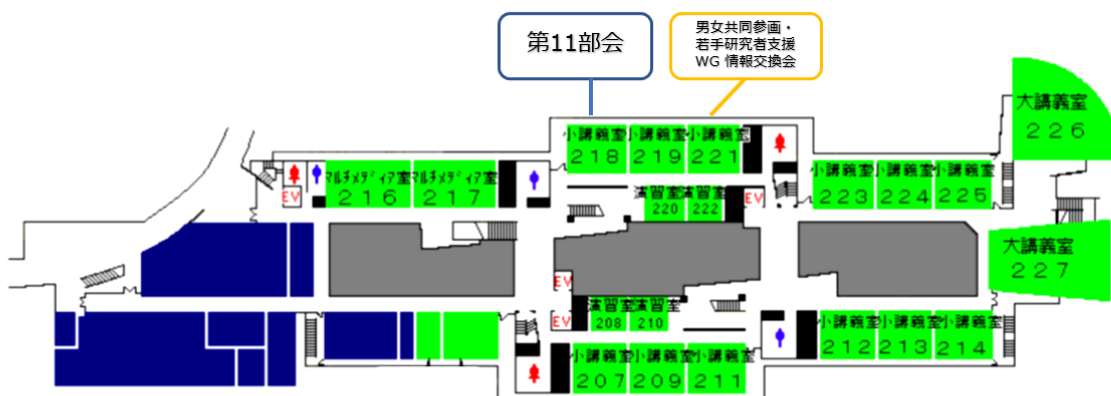
『宗教研究』編集委員会

## 研究講義棟内の会場の配置

### 研究講義棟 1 F 教室配置図



### 研究講義棟 2 F 教室配置図



## キャンパスマップ



多磨駅

1. アライバルコート araibaru kōto
2. アゴラ・グローバル agora gurōbaru
3. 附属図書館 toshokan
4. 本部管理棟 honbukanritō (jimutō)
5. 中央広場・円形回廊 chuō hiroba・enkei kairō
6. アジア・アフリカ言語文化研究所 ajia afurika gengo bunka kenkyūjo (ēēken)
7. 保健管理センター hoken kanri sentā
8. 大学会館 daigaku kaikan
9. 研究講義棟 kenkyū kōgito
10. 留学生日本語教育センター ryūgakusei nihongo kyōiku sentā (ryūnichī sentā)
11. 屋内運動場・課外活動施設 okunai undōjō・kagai katsudō shisetsu
12. テニスコート tennis kōto
13. 運動場 undōjō
14. 国際交流会館 kokusai kōryū kaikan

会場 東京外国語大学 府中キャンパス (東京都府中市朝日町 3-11-1)

### アクセスマップ

<http://www.tufs.ac.jp/abouttufs/contactus/access.html>



#### ◆JR 中央線

「武蔵境」駅のりかえ  
西武多摩川線「多磨」駅下車  
東口から徒歩5分  
(JR 新宿駅から約40分)

#### ◆京王電鉄

「飛田給」駅北口より  
多磨駅行き京王バスにて約10分  
「東京外国語大学前」下車



## 日本宗教学会 第82回学術大会実行委員会

E-mail : jars82nd(at)gmail.com (at)を@に変えて送信してください。

HP : <https://jpars.org/conference/>